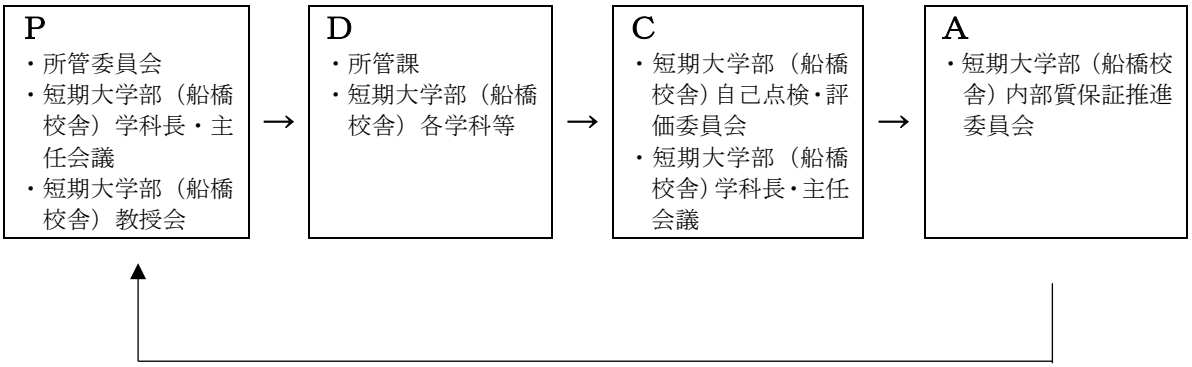
令和７年度全学自己点検・評価報告書

学部等名　　短期大学部（船橋校舎）

基準２ 内部質保証

１　内部質保証システムの有効性及び適切性について定期的に点検・評価し，改善・向上につなげていくサイクルに関して，以下のＰＤＣＡサイクル図に該当する組織名（例：教授会，自己点検・評価委員会，内部質保証推進委員会等）を明記してください。



２　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，以下の設問に回答してください。

点検・評価項目③

内部質保証システムの有効性及び適切性について定期的に点検・評価を行い，改善・向上に向けた取組を行っていること。

＜評価の視点＞

・内部質保証システムの整備や機能の状況を定期的に点検・評価し，その結果に基づき，教育の質を保証する仕組みとしてより有効に機能できるよう改善・向上に取り組んでいるか。

⑪　学部等における内部質保証システムが有効に機能しているか，どのように点検・評価（検討・検証）しているか記述してください。また，その結果，改善・向上を図った事例等について記述してください。

本短期大学部では，短期大学部（船橋校舎）自己点検・評価委員会が関係部署（各委員会等）へ点検・評価の資料作成依頼を行い，取りまとめた点検・評価報告書等を短期大学部（船橋校舎）内部質保証推進委員会へ報告を行い，本短期大学部の課題等の抽出を行っている。課題として抽出された事項については，短期大学部（船橋校舎）自己点検・評価委員会が関係部署への改善を指示し，改善に努めている。作成された改善計画は，内容により短期大学部（船橋校舎）企画調整委員会又は短期大学部（船橋校舎）学科長・主任会議で協議され，短期大学部（船橋校舎）教授会にて審議，所管委員会（所管課）において実行されている。

令和６年度に実施した自己点検・評価結果において，令和６年度の入学定員・入学者数について，ものづくり・サイエンス総合学科 78 名中 44 名となり，同学科の令和６年度収容定員充足率が 0.84（定員未充足）となったことを受け，学生数確保に向けた検討を行うことを改善課題として抽出し，短期大学部（船橋校舎）内部質保証推進委員会においても共有され，同委員会委員長である短期大学部（船橋校舎）次長から学生確保に向けた検討を行うよう改善取組の指示が短期大学部（船橋校舎）入学試験実行委員会にされている。具体的には新規の入学者選

抜方法の導入について検討することである。短期大学部（船橋校舎）入学試験実行委員会において新規の入学者選抜の導入について検討をした結果，新たに令和８年度入学者選抜において一般選抜Ｎ全学統一方式第２期を導入することとし，短期大学部（船橋校舎）学科長・主任会議で協議，短期大学部（船橋校舎）教授会で審議され，実行されることになっている。また，令和９年度入学者選抜で学校推薦型選抜（指定校制）を導入することが決まっている。

また，本短期大学部では，短期大学部（船橋校舎）自己点検・評価委員会が短期大学部（船橋校舎）内部質保証推進委員会からの指示により教育活動に関する外部評価を実施しており，外部評価結果で意見等があった内容については，各部署にて改善取組を行っている。外部評価結果については，短期大学部（船橋校舎）内部質保証推進委員会に報告され，本短期大学部ホームページに掲載している。

令和６年度の教育活動に関する外部評価では，上述の令和６年度の自己点検・評価結果同様に学生の受入れについて改善の必要があるとの指摘を受けている。短期大学部（船橋校舎）入学試験実行委員会では，上述したように新規の入学者選抜の導入について検討し，実行するほか，短期大学部（船橋校舎）学務委員会では，令和９年度実施に向けた新カリキュラムの策定を検討することとし，短期大学部（船橋校舎）広報委員会では令和７年度に年２回実施する高校訪問について，特に 12 月から年明け１月に実施する第２回高校訪問における訪問校の決定に当たって，より戦略的な方法により決定するなど，一人でも多くの受験生確保ができ，定員管理の問題解決に少しでも寄与できる施策を行う等，改善に努めている。

自己点検・評価活動以外の取組としては，短期大学部（船橋校舎）内部質保証推進委員会が本短大学部教員も構成員として加わっている併設学部の理工学部情報統括委員会（ＩＲ委員会）の取組内容，本短期大学部で実施している教職員研修会をはじめとしたＦＤ・ＳＤ活動の結果等について報告を受け，点検・評価をして改善が必要な場合は改善指示を行うこととしている。

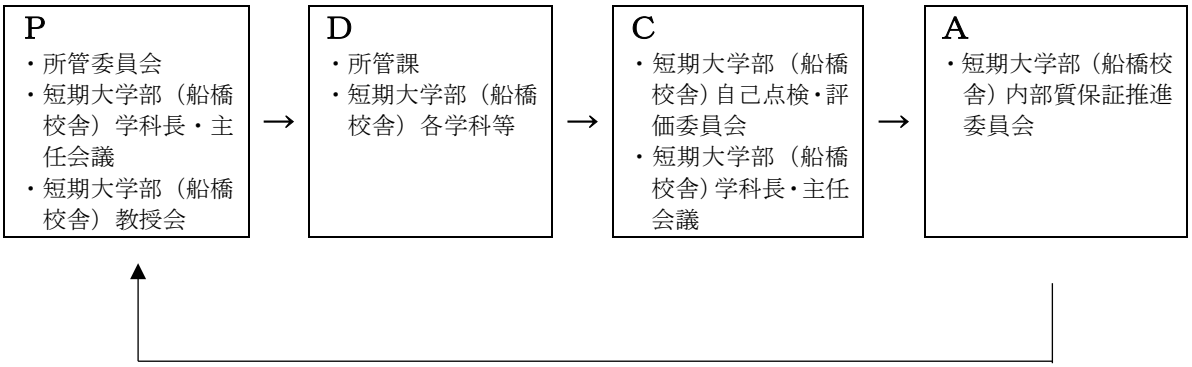
３　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，【添付書類⑤】令和６年度全学自己点検・評価結果に対する検証結果で付された当該基準における提言（是正勧告，改善課題）にどのように取り組むかを記述してください。提言（是正勧告，改善課題）が付されている学部，通信教育部，大学院研究科及び短期大学部（各校舎）のみ御回答ください。

なし

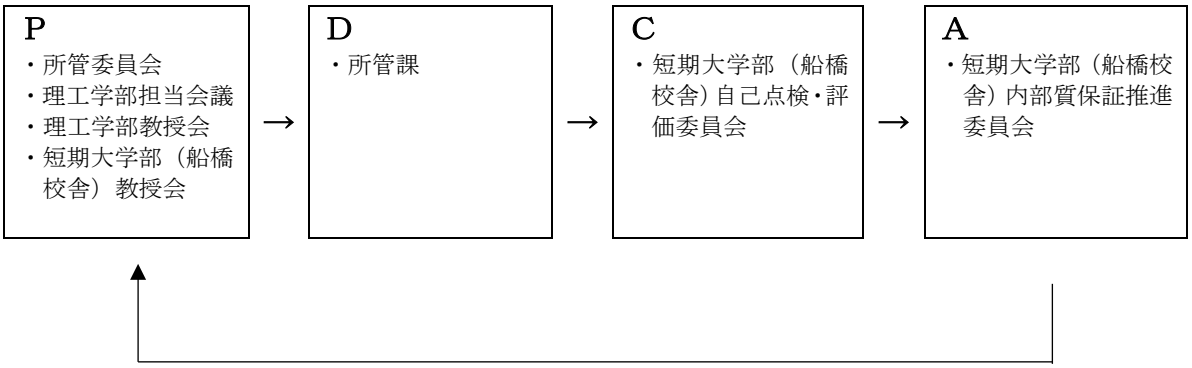
基準３ 教育研究組織

１　教育研究組織に関わる事項を定期的に点検・評価し，その結果を活用して改善・向上につなげていくサイクルに関して，以下のＰＤＣＡサイクル図に該当する組織名を明記してください。なお，事案により対応する組織名が異なる場合は，下記の図をコピー＆ペーストして，事案ごとにそれぞれ記載してください。

【学科の新設・改組等】



【研究所の新設・改組等】



２　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，以下の設問に回答してください。

点検・評価項目②

教育研究組織の適切性について定期的に点検・評価し，その結果を活用して改善・向上に向けて取り組んでいること。

＜評価の視点＞

・教育研究組織に関わる事項を定期的に点検・評価し，当該事項における現状や成果が上がっている取組及び課題を適切に把握しているか。

・点検・評価の結果を活用して，教育研究組織に関わる事項の改善・向上に取り組み，効果的な取組へとつなげているか。

⑫　学問の動向や社会的要請等に対応すべく，学科や研究所の新設，学科の改組等，教育研究組織の見直しについて，どの組織が，どのように点検・評価（検討・検証）しているか記述してください。また，その結果，改善・向上を図った事例等について記述してください。

学科組織の適切性については，短期大学部（船橋校舎）学務委員会，同企画調整委員会及び同入学試験実行委員会が中心となり，カリキュラムの検討及び入学定員充足率・収容定員に対しての学生充足率等の学科定員管理から検討を行い，計画の立案を行っている。

学科名称の変更については，令和６年度入学者数及び令和７年度学校推薦型選抜における志願者数の減少等を受けたこと並びに文部科学省への届出となったことから，特にものづくり・

サイエンス総合学科については，従前から学問分野が分かりづらい等の意見が挙げられていたことを含め，令和６年 11 月開催の短期大学部（船橋校舎）学務委員会及び同企画調整委員会において，学科名称の変更を議題とし，両学科において検討を開始している。

研究所の新設・改組等は，理工学研究所運営委員会が中心となり，短期大学部（船橋校舎）を含む理工学部全体の研究力向上と外部への認知度向上等を目的として計画立案を行っており，令和７年度に研究支援体制の整備と機能強化を図るため，分野間連携を含む共通の研究目的を持つ複数の研究者の単位にユニット名称を付して組織的に活動することを理工学部の公式な位置付けとして扱う仕組み（研究ユニット制度）を制定した。

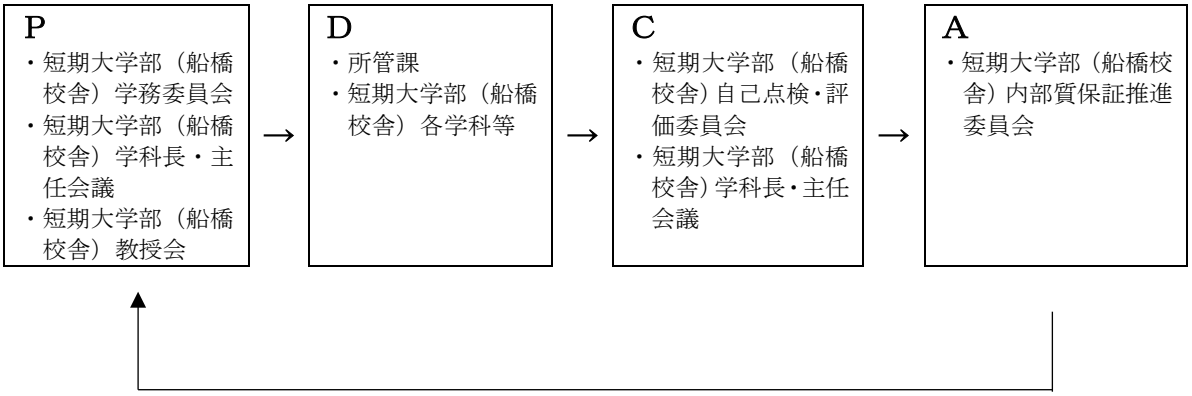
上述のとおり，所管委員会等で計画の立案を行い，短期大学部（船橋校舎）の学科組織については，短期大学部（船橋校舎）学科長・主任会議及び同教授会での審議等を経て，研究所組織の適切性については，理工学部担当会議，同担当・主任会議，同教授会及び短期大学部（船橋校舎）教授会での審議・報告等を経て，各々所管課等で実施している。同取組等については，短期大学部（船橋校舎）自己点検・評価委員会が中心に実施する自己点検・評価等を通じて検討・検証を行い，短期大学部（船橋校舎）内部質保証推進委員会へ同結果の報告を経て，本短期大学部の課題等を抽出している。抽出された課題等は所管委員会等にフィードバックを行っている。

３　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，【添付書類⑤】令和６年度全学自己点検・評価結果に対する検証結果で付された当該基準における提言（是正勧告，改善課題）にどのように取り組むかを記述してください。提言（是正勧告，改善課題）が付されている学部，通信教育部，大学院研究科及び短期大学部（各校舎）のみ御回答ください。

なし

基準４ 教育・学習

１　教育課程及びその内容，教育方法について定期的に点検・評価し，その結果を活用して改善・向上につなげていくサイクルに関して，以下のＰＤＣＡサイクル図に該当する組織名を明記してください。なお，事案により対応する組織名が異なる場合は，下記の図をコピー＆ペーストして，事案ごとにそれぞれ記載してください。



２　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，以下の設問に回答してください。

点検・評価項目⑥

教育課程及びその内容，教育方法について定期的に点検・評価し，改善・向上に向けて取り組んでいること。

＜評価の視点＞

- **教育課程及びその内容，教育方法に関する自己点検・評価の基準，体制，方法，プロセス，周期等を明確にしているか。**
- **課程修了時に求められる学習成果の測定・評価結果や授業内外における学生の学習状況，資格試験の取得状況，進路状況等の情報を活用するなど，適切な情報に基づいているか。**
- **自己点検・評価の結果を活用し，教育課程及びその内容，教育方法の改善・向上に取り組んでいるか。**

⑸　教育課程及びその内容，教育方法に関する自己点検・評価の基準，体制，方法，プロセス，周期等について記述してください。

短期大学部（船橋校舎）学務委員会が中心となり，各学科・一般教育委員に対して教育課程の改正についての実施確認及び依頼を行い，教育課程の立案をし，短期大学部（船橋校舎）学科長・主任会議及び同教授会での協議・審議を経て決定している。教育課程改正の周期については，大学全体の取組に加えて，時代のニーズや改善事項への対応など，柔軟かつ臨機応変に実施している。令和７年度には，「数理・データサイエンス・ＡＩ教育プログラム認定制度」の大学全体での認定を目指すため，「データサイエンスの世界」の設置を行った。

教育課程の改正については，毎年４月に本部が実施する「監事監査（期末）」の提出資料に短期大学部（船橋校舎）学務委員会として記載するとともに，短期大学部（船橋校舎）自己点検・評価委員会が取りまとめる「自己点検・評価報告書」に記載して同自己点検・評価委員会及び短期大学部（船橋校舎）学科長・主任会議においてチェックをし，課題等があれば抽出され，同学務委員会にフィードバックされる。

⑹　教育課程及びその内容，教育方法の改善・向上に当たり，自己点検・評価の結果をどのように活用しているか記述してください。また，その結果，改善・向上を図った事例等について記述してください。

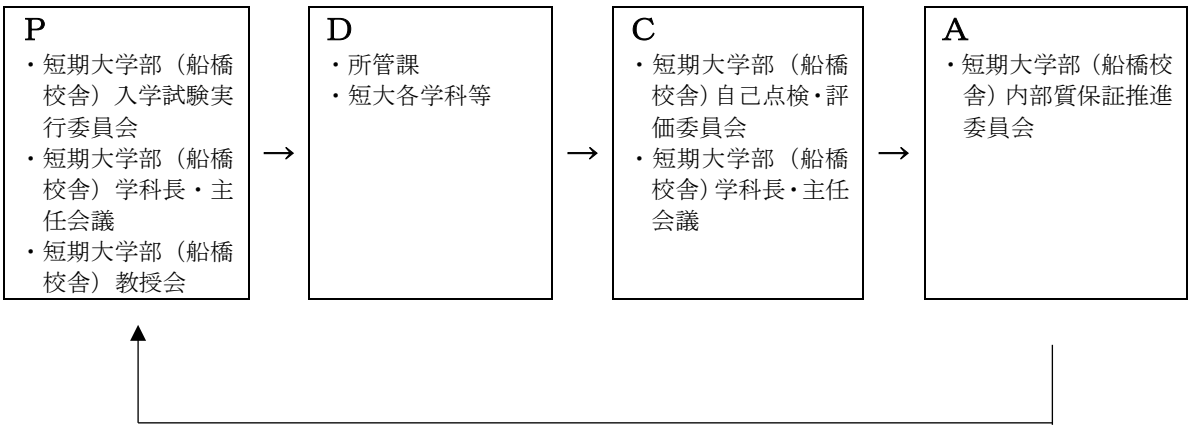
教育課程については，短期大学部（船橋校舎）学務委員会が中心となり，完成年度までの各学科等における検証結果を基に改善・見直しを図るのが通常であるが，大学全体の取組等への対応のため軽微な改正を行うこともあり柔軟に対応している。短期大学部（船橋校舎）自己点検・評価委員会が中心に実施する自己点検・評価結果の短期大学部（船橋校舎）内部質保証推進委員会への報告の結果，課題等が抽出されれば，その指摘を受けて改善・向上に取り組むことにもなるが，これまで指摘例はないため，指摘を受けて改善・向上を図った事例はない。なお，教育課程の変更に際しては，各学科・一般教育で十分に検討の上，諸会議に提出されている。

3　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，【添付書類⑤】令和６年度全学自己点検・評価結果に対する検証結果で付された当該基準における提言（是正勧告，改善課題）にどのように取り組むかを記述してください。提言（是正勧告，改善課題）が付されている学部，通信教育部，大学院研究科及び短期大学部（各校舎）のみ御回答ください。

なし

基準５ 学生の受け入れ

１　学生の受け入れに関わる事項を定期的に点検・評価し，その結果を活用して改善・向上につなげていくサイクルに関して，以下のＰＤＣＡサイクル図に該当する組織名を明記してください。なお，事案により対応する組織名が異なる場合は，下記の図をコピー＆ペーストして，事案ごとにそれぞれ記載してください。



２　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，以下の設問に回答してください。

点検・評価項目③

学生の受け入れに関わる状況を定期的に点検・評価し，改善・向上に向けて取り組んでいること。

＜評価の視点＞

- **学生の受け入れに関わる事項を定期的に点検・評価し，当該事項における現状や成果が上がっている取組及び課題を適切に把握しているか。**
- **点検・評価の結果を活用して，学生の受け入れに関わる事項の改善・向上に取り組み，効果的な取組へとつなげているか。**

㊾　学生の受け入れに関わる事項について，どの組織が，どのように点検・評価（検討・検証）しているか記述してください。また，その結果，改善・向上を図った事例等について記述してください。

入学者選抜実施に関わる業務を行う短期大学部（船橋校舎）入学試験実行委員会において，計画・実施・点検・評価を行い，改善・向上を図っている。毎年，入学者選抜結果については，５月の諸会議に報告を行うとともに，12 月の諸会議において，次年度の募集人員を含む入学者選抜方針の立案を行っている。

最新の改善を図った事例として，令和７年度入学者選抜結果の５月における諸会議への報告後，令和７年７月開催の短期大学部（船橋校舎）入学試験実行委員会において，短期大学部（船橋校舎）学校推薦型選抜（指定校制）の導入について検討を始め，過去５年間の高校別志願者数等を資料として各学科の指定校の選定を行い，各学科の募集人員及び推薦基準等の実施概要を 10 月までに取りまとめた。取りまとめた案は，短期大学部（船橋校舎）学科長・主任会議において協議され，推薦基準の見直しなどの調整依頼を受けて，11 月末開催の同入学試験実行委員会において実施概要としての体裁を整えた。令和９年度入学者選抜から実施することになっている。

志願者の募集については，短期大学部（船橋校舎）広報委員会において，入試広報の在り方を協議し募集活動を行っている。

上述のとおり，学生の受け入れに関わる事項については，所管委員会等において計画の立案を行い，短期大学部（船橋校舎）学科長・主任会議及び同教授会での報告・審議等を経て，所管課等で実施している。同取組等については，短期大学部（船橋校舎）自己点検・評価委員会

が中心に実施する自己点検・評価，同教育活動に関する外部評価等を通じて検討・検証を行い，短期大学部（船橋校舎）内部質保証推進委員会へ同結果の報告を経て，本短期大学部の課題等を抽出している。抽出された課題等は所管委員会等にフィードバックを行っている。

3　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，【添付書類⑤】令和６年度全学自己点検・評価結果に対する検証結果で付された当該基準における提言（是正勧告，改善課題）にどのように取り組むかを記述してください。提言（是正勧告，改善課題）が付されている学部，通信教育部，大学院研究科及び短期大学部（各校舎）のみ御回答ください。

【提言（改善課題）】

ものづくり・サイエンス総合学科において，収容定員に対する在籍学生数比率が 0.84 と低いため，定員管理を徹底するよう改善が求められる。

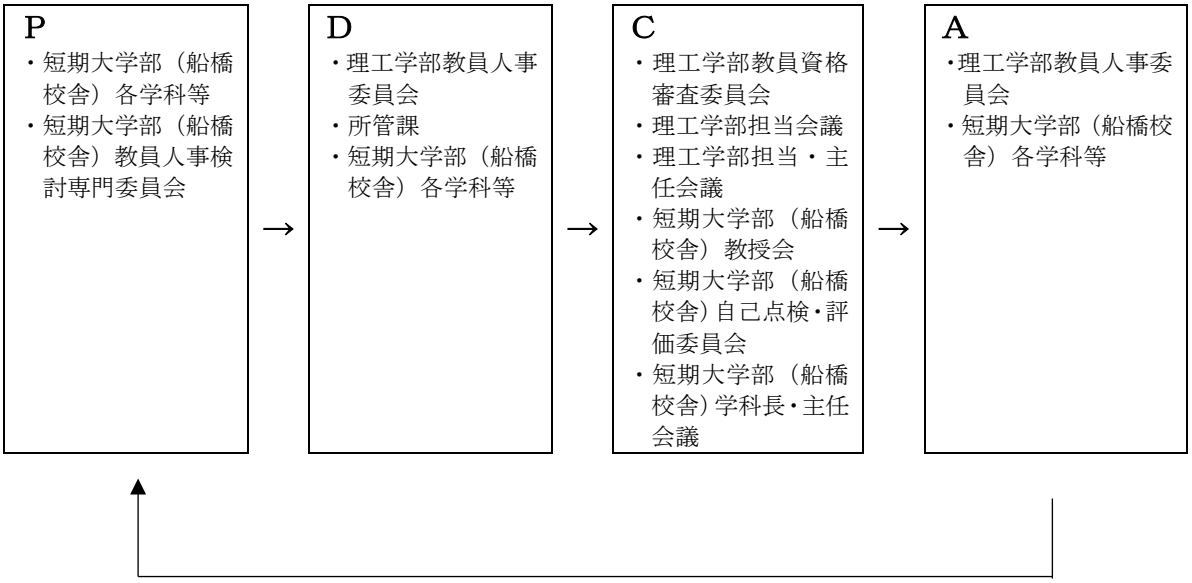
入学定員充足率の増加を目標として，短期大学部（船橋校舎）入学試験実行委員会において検討ワーキングを設置し，新規の入学者選抜方法の導入について検討を行った。その結果，令和９年度入学者選抜において，学校推薦型選抜（指定校制）を導入することについて，短期大学部（船橋校舎）学科長・主任会議及び同教授会にて審議され，実施することが決定した。

このほか，短期大学部（船橋校舎）広報委員会において，短期大学部（船橋校舎）教員全員の協力を得て，12 月から翌年１月に実施している高校訪問を戦略的に実施することにより，令和８年度入学者選抜において一人でも多くの志願者確保につながるよう取り組むこととしている。

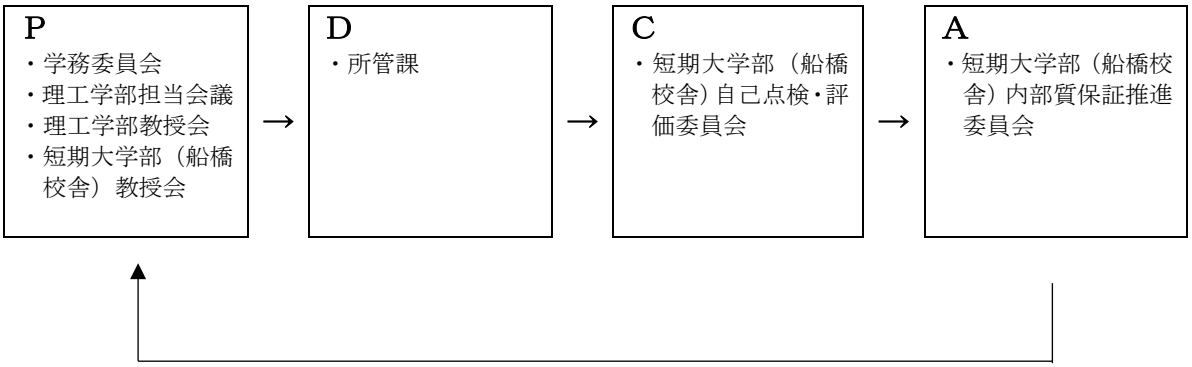
基準６ 教員・教員組織

１　教員組織に関わる事項を定期的に点検・評価し，その結果を活用して改善・向上につなげていくサイクルに関して，以下のＰＤＣＡサイクル図に該当する組織名を明記してください。なお，事案により対応する組織名が異なる場合は，下記の図をコピー&ペーストして，事案ごとにそれぞれ記載してください。

【人事】



【授業補助者への対応】



２　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，以下の設問に回答してください。

点検・評価項目④

教員組織に関わる事項を定期的に点検・評価し，改善・向上に向けて取り組んでいること。

＜評価の視点＞

- **教員組織に関わる事項を定期的に点検・評価し，当該事項における現状や成果が上がっている取組及び課題を適切に把握しているか。**
- **点検・評価の結果を活用して，教員組織に関わる事項の改善・向上に取り組み，効果的な取組へとつなげているか。**

㊽　教員組織に関わる事項について，どの組織が，どのように点検・評価（検討・検証）しているか記述してください。また，その結果，改善・向上を図った事例等について記述してください。

各学科等から提出された次年度の教員人事計画を，短期大学部次長及び学科長・主任等で構

成される短期大学部（船橋校舎）企画調整委員会の専門委員会である短期大学部（船橋校舎）教員人事検討委員会において検討した後，毎年６月開催の理工学部教員人事委員会において，各学科等における教員の組織構成や資格ごとのバランス及び年齢構成を含めその可否を検討している。検討結果については，各学科等に通知され，必要に応じて面談を行うこととしている。この結果を基に，学科等は規程及び基準等に照らして採用活動の実施及び昇格者を検討し，理工学部教員資格審査委員会，同担当会議，同担当・主任会議及び短期大学部（船橋校舎）教授会における審査を経るものとしている。

理工学部教員人事委員会では，学校教育法等に基づき定められた「教員配置計画に係る基本方針」及び「教員組織編制方針」を踏襲し，短期大学部（船橋校舎）を含む理工学部における中・長期にわたる教員組織・人事計画「教員配置計画」に関する事項を審議し，学科等における年齢構成や資格ごとのバランスを考慮している。また，理工学部教員資格審査委員会，同担当会議，同担当・主任会議及び短期大学部（船橋校舎）教授会では，新規採用等の申請があった者について，教員規程等に定められた資格の確認及び審査を行うことで，公平性及び公正性を担保している。

同取組と並行して，短期大学部（船橋校舎）自己点検・評価委員会が中心に実施する自己点検・評価を通じて短期大学設置基準に定める人数の充足状況等から教員組織の適切性について確認し，各学科等において課題等を抽出している。

教員組織については，各学科等において専門領域や男女構成，年齢構成，資格ごとのバランス等を確認しながら，昇格や採用の計画を立案して適切に対応しているため，短期大学部（船橋校舎）が実施する自己点検・評価において，改善課題を抽出して改善を図った事例はないのが実状である。

３　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，【添付書類⑤】令和６年度全学自己点検・評価結果に対する検証結果で付された当該基準における提言（是正勧告，改善課題）にどのように取り組むかを記述してください。提言（是正勧告，改善課題）が付されている学部，通信教育部，大学院研究科及び短期大学部（各校舎）のみ御回答ください。

【提言（改善課題）】

本記述は科研費等の外部資金申請支援に焦点を当てており，研究活動全般における役割分担や協働の具体事例が限定的であるため，改善が求められる。

各活動の具体的な成果や改善点については記述が限定的であり，評価基準の達成度や情報発信による外部連携・資金獲得への波及効果など，定量的・定性的な検証が今後の課題であり，改善が求められる。

科研費等の外部資金申請支援は，間接経費が措置される研究費獲得の側面からとらえると，研究者のみならず，研究機関としての組織を充実させる取組の内容を同時に合わせ持っていると考えられる。各府省から受入れた競争的資金（科学研究費助成事業等）の間接経費の理工学部における使用分は，研究部門及び管理部門とで原則 50％ずつとして，前者を研究者個人に配分し，各自の研究環境の改善に充て，後者は研究機関の組織的な充実に充てている。理工学部における間接経費の使用分を増額させることは，個人及び組織の両側面から同時に研究環境を改善する取組に結び付いている。特に科学研究費助成事業への積極的な応募を促し，その採択を支援する活動は，個人の充実と同時に，組織を充実させるための研究活動全般にわたる取組となっている。この取組は，短期大学部（船橋校舎）においても同様である。理工学部教授会及び短期大学部（船橋校舎）教授会において，応募件数の報告及び採択結果の報告を通して，点検・評価に供している。

また，現状では業務前の集合研修や授業補助者として必要なスキル・知識（ハラスメント防

止，守秘義務，学生対応方法など）に関する体系的な指導の実施が見られず，教員間や担当部署間での指導内容の統一性や質の保証には課題があり，改善が求められる。

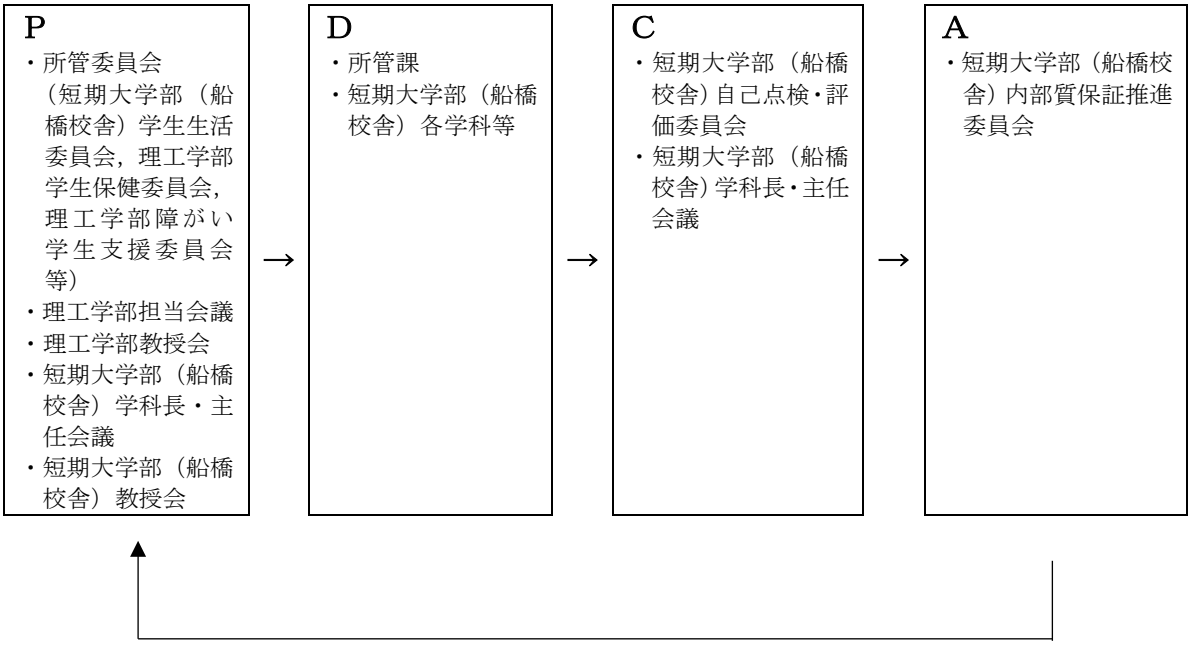
授業補助者への研修については，短期大学部（船橋校舎）は理工学部（船橋校舎）と同一の敷地内にあること，授業補助者（ＴＡ）は全員が大学院理工学研究科の大学院生で理工学部との雇用契約となっていること及びＴＡの必要人数が理工学部で 330 名，短期大学部（船橋校舎）で 12 名のため，研修については理工学部及び短期大学部（船橋校舎）のＴＡに対して，大学院を所管する理工学部駿河台校舎教務課から通知の上，実施した。

なお，令和７年度の実施内容については準備不足の面から不十分であったため，ブラッシュアップに向けて，駿河台校舎教務課から理工学部ＦＤ委員会に実施時期の早期化及び研修動画等の作成依頼を行うとともに，短期大学部（船橋校舎）内の諸会議においても，議題として意見等を聴取する。

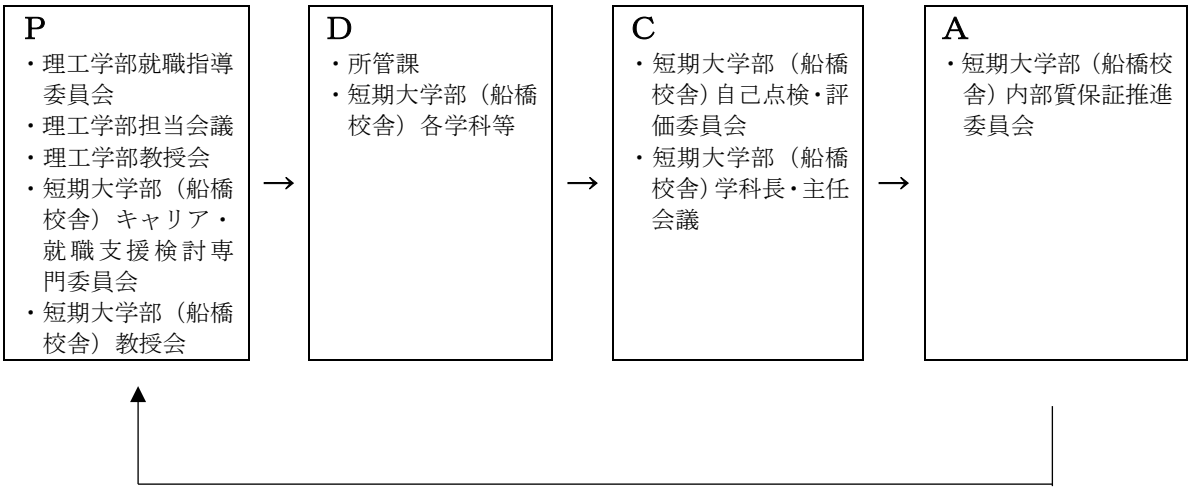
基準７ 学生支援

１　学生支援に関わる事項を定期的に点検・評価し，その結果を活用して改善・向上につなげていくサイクルに関して，以下のＰＤＣＡサイクル図に該当する組織名を明記してください。なお，事案により対応する組織名が異なる場合は，下記の図をコピー&ペーストして，事案ごとにそれぞれ記載してください。

【学生生活関係】



【就職関係】



２　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，以下の設問に回答してください。

点検・評価項目②

学生支援に関わる状況を定期的に点検・評価し，改善・向上に向けて取り組んでいること。

＜評価の視点＞

・学生支援に関わる事項を定期的に点検・評価し，当該事項における現状や成果が上がっている取組及び課題を適切に把握しているか。

・点検・評価の結果を活用して，学生支援に関わる事項の改善・向上に取り組み，効果的な取組へとつなげているか。

㊽　学生支援に関わる事項について，どの組織が，どのように点検・評価（検討・検証）しているか記述してください。また，その結果，改善・向上を図った事例等について記述してください。

学生生活委員会においては，学生団体（サークル）の活動実績に応じ，昇格や降格，廃部，活動実績に応じた補助金支給額の審議を行っている。学部祭（桜理祭）の運営に当たっては，学生の実行委員会代表者と学生生活委員会による桜理祭協議会を校舎ごとに開催し，学部祭の企画内容の適切さや安全管理について確認し，審議の上，学生との協同に取り組んでいる。学部祭終了後には，その実施報告を検討し，次年度の取組への改善に活用している。

学生保健委員会においては，学部内の学生傷害事故等調査委員会にて報告された実験中に発生した傷害事故における原因究明と対策案を審議検討して，対策案を学部内で共有し，実験装置の取扱い手順や方法の改善を図る等，学部内で改めての注意喚起を行う契機とし，再発事故の防止と更なる安全対策に向けての取組を行っている。毎年４月に実施する「日本大学メンタルヘルスチェック（K6)」においては，取得した結果に基づき，数値や分布傾向等を分析し，リスクが高いと思われる学生への対応については，面談での状況確認を経て，必要に応じて，カウンセリングや保健室との連携，合理的配慮の申請を行って円滑に学生生活が過ごせるよう取り組んでいる。本委員会で作成し，初年次教育授業において実施している「学生生活の安全・健康学」の講義においては，各学科にて実施された状況を確認して，受講後の理解度を測るための小テストの実施や講義を担当した教員へのアンケートを行い，委員会において次年度への改善内容等を検討し，次年度の編集時に反映している。

障がい学生支援委員会においては，決定した合理的配慮の実施状況を，支援対象者及び支援実施者と面談等を通してモニタリングを実施している。実施状況に問題がある場合や追加や削減の要望がある場合には，再度委員会に諮る等の対応を行い，適切な支援が実施できるよう体制を整えている。合理的配慮の提供に当たっては，各種研修や理工学部学生理解講座などの取組を行っているが，合理的配慮の提供内容や決定過程に不服等がある場合や万が一差別的な取扱いを受けてしまった場合に備えて，令和７年７月より学生支援室への相談，本部学生支援センターへの再相談，本部学生課への救済措置の申立て等の体制を整備している。

就職支援に関する年間計画等は，就職指導委員会及び短期大学部（船橋校舎）キャリア・就職支援検討専門委員会が中心となって策定し，学生の就職活動の動向や前年の支援実績，企業からのフィードバック等を踏まえ，ガイダンスや個別相談，求人開拓等の支援方針を定めている。具体的な支援活動の実施については，就職指導課が担っており，就職支援計画の実行に当たっている。

上述のとおり，学生支援に関わる事項の適切性については，所管委員会で計画の立案を行い，理工学部担当会議，同担当・主任会議，同教授会及び短期大学部（船橋校舎）教授会での報告・審議等を経て，所管課等で実施している。同取組等については，短期大学部（船橋校舎）自己点検・評価委員会が中心に実施する自己点検・評価等を通じて検討・検証を行い，短期大学部（船橋校舎）内部質保証推進委員会へ同結果の報告を経て，課題等を抽出している。抽出された課題等は，所管委員会等にフィードバックを行っている。

これらにより，学生生活におけるより充実したサポート体制，就職活動の早期化に対応した低学年向けのキャリア形成支援プログラムを新たに開催する等，効果的な取組につなげている。

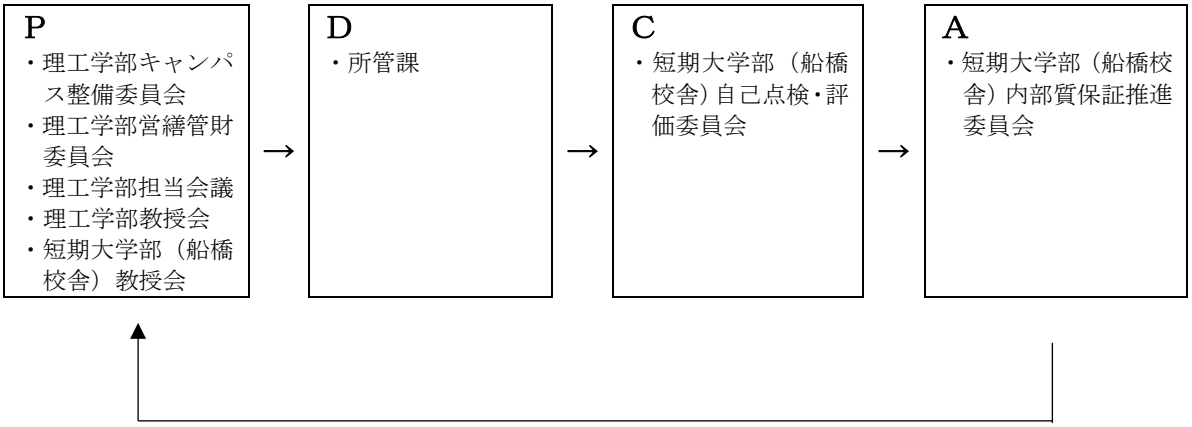
３　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，【添付書類⑤】令和６年度全学自己点検・評価結果に対する検証結果で付された提言（是正勧告，改善課題）にどのように取り組むかを記述してください。提言（是正勧告，改善課題）が付されている学部，通信教育部，大学院研究科及び短期大学部（各校舎）のみ御回答ください。

なし

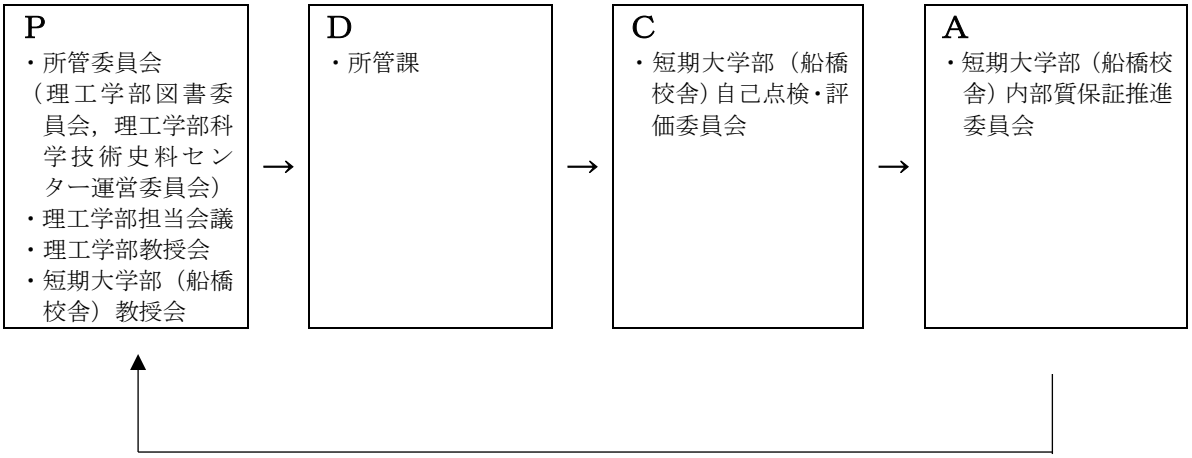
基準８ 教育研究等環境

１　研究等環境に関わる事項を定期的に点検・評価し，その結果を活用して改善・向上につなげていくサイクルに関して，以下のＰＤＣＡサイクル図に該当する組織名を明記してください。なお，事案により対応する組織名が異なる場合は，下記の図をコピー＆ペーストして，事案ごとにそれぞれ記載してください。

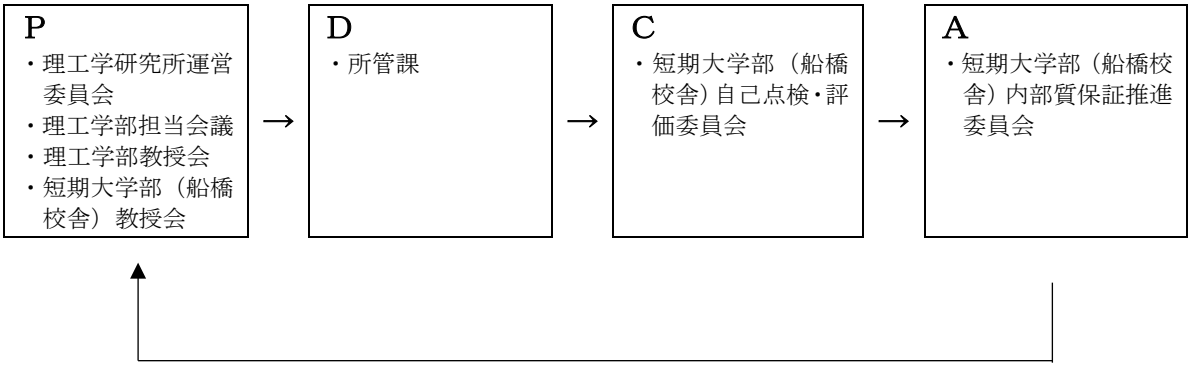
【キャンパス整備】



【図書館】



【研究所】



２　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，以下の設問に回答してください。

点検・評価項目④

教育研究等環境に関わる状況を定期的に点検・評価し，改善・向上に向けて取り組んでいること。

＜評価の視点＞

・研究等環境に関わる事項を定期的に点検・評価し，当該事項における現状や成果が上がっている取組及び課題を適切に把握しているか。
・点検・評価の結果を活用して，研究等環境に関わる事項の改善・向上に取り組み，効果的な取組へとつなげているか。

⑩　研究等環境に関わる事項について，どの組織が，どのように点検・評価（検討・検証）しているか記述してください。また，その結果，改善・向上を図った事例等について記述してください。

キャンパス整備委員会では，キャンパス全体に係る整備を点検する。その他の施設，設備については，毎年度，各部署から学生や教員の教育研究活動に必要な整備について，優先順位を付した上で申請を受けている。また，管財課においても老朽化している施設及びインフラ設備等も含めた校舎全体の総合点検を行い，緊急性や重要性を考慮した上で施設の整備計画を作成している。これらを基に，営繕管財委員会にて，予算規模や各学科からの施設・設備申請内容・優先順位等を考慮し，次年度に実施する施設・設備の計画を決定している。

改善・向上を図った事例としては，船橋校舎１号館～７号館階段手摺設置工事，テクノプレース 15 空調設備更新工事，船橋校舎階段教室便所和便器交換その他工事，船橋校舎８号館東側入口自動ドア化工事，船橋校舎実験室等無線ＬＡＮ整備，船橋校舎 12 号館地下演習室視聴覚設備更新及び船橋校舎階段教室（小）ＡＶ機器更新を各々実施し，施設・設備の改善・向上を図った。

図書委員会では，図書館業務全般の報告のほか，図書館における諸課題への対応策の検討等を行い，その結果を基に図書館事務課が具体的な対応策を策定し，図書館利用の促進及び所蔵資料のアクセス促進を図っている。

科学技術史料センター運営委員会では，科学技術史料センターに関する報告のほか，特別展の企画，受贈・寄贈品受入の検討を行い，その結果を基に図書館事務課が具体的な対応策を策定し，センター利用の促進及び史料の充実を図っている。

理工学研究所運営委員会では，学部が実施する助成金等に競争的資金をより獲得していくことを目指す各種支援を行っている。また，理工学研究所長から，特に科学研究費助成事業への積極的な応募を学部・短期大学部内で促し，外部資金獲得のための説明会の実施・参加に取り組んでいる。これらの各取組の実施については，研究事務課が担っている。

上述のとおり，教育研究等環境に関わる事項については，所管委員会で計画の立案を行い，理工学部担当会議，同担当・主任会議，同教授会及び短期大学部（船橋校舎）教授会での報告・審議等を経て，所管課等で実施している。同取組等については，短期大学部（船橋校舎）自己点検・評価委員会が中心に実施する自己点検・評価等を通じて検討・検証を行い，短期大学部（船橋校舎）内部質保証推進委員会へ同結果の報告を経て，課題等を抽出している。抽出された課題等は所管委員会等にフィードバックを行っている。

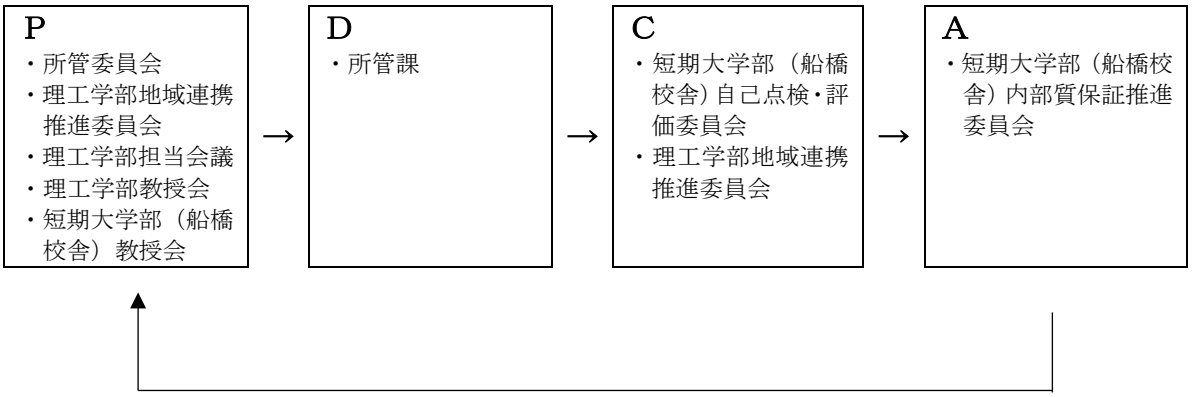
３　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，【添付書類⑤】令和６年度全学自己点検・評価結果に対する検証結果で付された当該基準における提言（是正勧告，改善課題）にどのように取り組むかを記述してください。提言（是正勧告，改善課題）が付されている学部，通信教育部，大学院研究科及び短期大学部（各校舎）のみ御回答ください。

なし

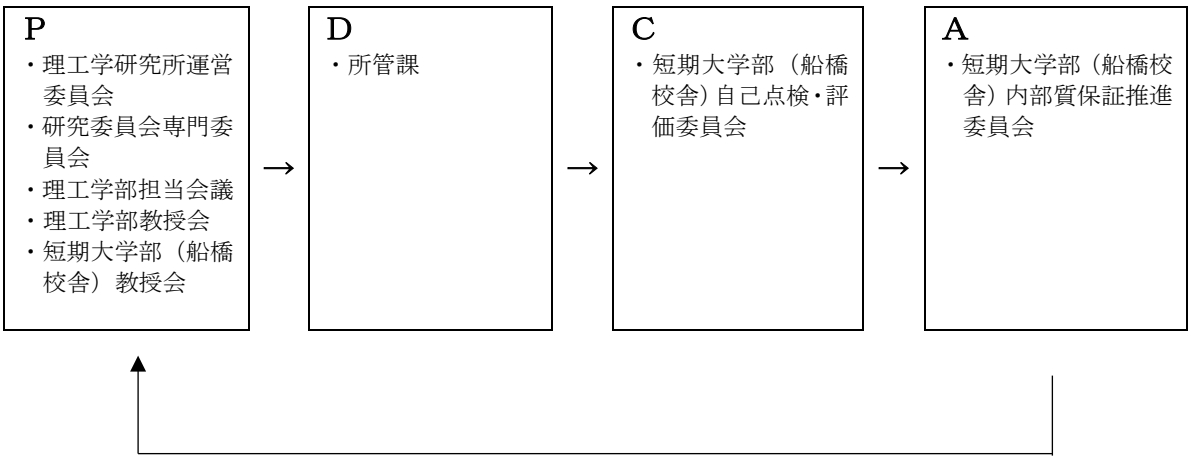
基準９ 社会連携・社会貢献

1　社会連携・社会貢献に関わる事項を定期的に点検・評価し，その結果を活用して改善・向上につなげていくサイクルに関して，以下のＰＤＣＡサイクル図に該当する組織名を明記してください。なお，事案により対応する組織名が異なる場合は，下記の図をコピー&ペーストして，事案ごとにそれぞれ記載してください。

【公開講座等】



【研究関係】



2　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，以下の設問に回答してください。

点検・評価項目②

社会連携・社会貢献活動の状況を定期的に点検・評価し，改善・向上に向けて取り組んでいること。

＜評価の視点＞

- **社会連携・社会貢献に関わる事項を定期的に点検・評価し，当該事項における現状や成果が上がっている取組及び課題を適切に把握しているか。**
- **点検・評価の結果を活用して，社会連携・社会貢献に関わる事項の改善・向上に取り組み，効果的な取組へとつなげているか。**

⑯　社会連携・社会貢献に関わる事項について，どの組織が，どのように点検・評価（検討・検証）しているか記述してください。また，その結果，改善・向上を図った事例等について記述してください。

公開講座等の社会連携・社会貢献を目的としたイベントは，短期大学部教員も委員として加わっている理工学部地域連携推進委員会及び各イベントを所管する各委員会において，それぞれの特色を生かして計画を立案し，理工学部担当会議，同担当・主任会議，同教授会及び短期

大学部（船橋校舎）教授会での報告・審議等を経て，所管課等で実施している。同取組等については，短期大学部（船橋校舎）自己点検・評価委員会が中心に実施する自己点検・評価等を通じて検討・検証を行い，同結果は短期大学部（船橋校舎）内部質保証推進委員会へ報告を行い，課題等を抽出している。

なお，検討・検証の段階では，理工学部地域連携推進委員会においても各イベントの実施状況等の確認を行い，ホームページを通して学外に広く発信しており，短期大学部（船橋校舎）を含む理工学部全体の地域連携活動全体の改善・向上につながるよう計画の立案にも寄与している。

また，理工学研究所では，令和４年度から主に企業を対象とした研究所公開イベントを実施しており，同イベントは社会連携・社会貢献として果たす効果と同様に受託・共同研究に結び付くことを期待して，関連委員会において計画を立案し，理工学部担当会議，同担当・主任会議，同教授会及び短期大学部（船橋校舎）教授会で報告等を行い，研究事務課等で実施している。同取組等についても，短期大学部（船橋校舎）自己点検・評価委員会が中心に実施する自己点検・評価等を通じて検討・検証を行い，短期大学部（船橋校舎）内部質保証推進委員会へ報告を経て，課題等を抽出している。同イベントについては，理工学部が実施した外部評価結果において社会から意見交換等を通して研究課題をもらい，それをフィードバックする良いサイクルになっているとの評価を受けており，毎年実施している。

３　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，【添付書類⑤】令和６年度全学自己点検・評価結果に対する検証結果で付された当該基準における提言（是正勧告，改善課題）にどのように取り組むかを記述してください。提言（是正勧告，改善課題）が付されている学部，通信教育部，大学院研究科及び短期大学部（各校舎）のみ御回答ください。

なし